

CASBEE® 広島

(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)上八丁堀8番マンション	階数	地上26F
建設地	広島市中区上八丁堀8番20	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	596 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年2月 予定	評価の実施日	2013年4月18日
敷地面積	2,190 m ²	作成者	間島 梓
建築面積	990 m ²	確認日	2013年4月22日
延床面積	18,504 m ²	確認者	吉田 祐二



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.0 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.9

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.8

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.7

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 4.1	スコア = 3.1	スコア = 3.0
設計の計画上特段に配慮した事項 庇、バルコニーによる日射遮蔽を行う。/自然エネルギーの利用を考慮していない。/省エネルギー計算の結果に基づいています。/対象外/水資源保護として、節水コマと省水型機器を採用している。/節水型トイレを採用しています。	設計の計画上特段に配慮した事項 外構に多くの植栽を施す/附置義務台数を上回る駐車台数を確保する。駐車場を建物内に設置することで、道路への車の滞流を防ぐ。	設計の計画上特段に配慮した事項 構造躯体において劣化対策等級3を確保します。/

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される